



「諏訪湖の日」 宣言文

日本列島に人類が到達した、遙か遠い昔。
幾多（いくた）の川を渡り、峰を越え、
ようやくこの地にたどり着いた太古の人々は
峠から諏訪湖を見下ろした時、
どれほどの感動と喜びに包まれたことでしょう。

その日から数万年もの長きにわたり
諏訪湖はわたくしたちに恵みをもたらし、
安らぎを与え、
そして祈りの対象でもありました。

諏訪湖はそこに住む人々の
人生の一部であり、
心のよりどころでもあったのです。

しかしそんな諏訪湖は
わずかこの半世紀ほどの間に、
すっかりわたくしたちの、
日々の暮らしから遠のいてしまいました。

アオコで覆われた湖と
そこに住む生き物たちの声なき声は、
人々の意識の中に暗い影を落としていました。

けれど人間は考え、
そして創造することができる存在です。



水清き諏訪湖を取り戻すため、人々は立ち上がりました。
1979年10月1日には
諏訪湖流域下水道の一部供用が開始。

諏訪湖の浄化に向けた
長い長い戦いが始まったのです。

昨年5月に発足した
諏訪湖創生ビジョン推進会議は、
「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」
を目指しています。

それは
学び、親しみ、思いを寄せる場所であった
「母なる諏訪湖」を取り戻し、
そして未来の世代に引き継ぐための挑戦なのです。

わたくしたちは、一人一人が諏訪湖に関心を持ち、
できることに取り組むとともに、
様々な団体がともに手を携えて、
わたくしたちの新しい諏訪湖を創生していかなければなりません。

この想いのもと
諏訪湖の歴史に新たな一步を刻むことを決意して、
わたくしたち諏訪湖創生ビジョン推進会議は
今、ここに、
諏訪湖創生の原点ともいうべき10月1日を
「諏訪湖の日」と宣言いたします。

諏訪湖創生ビジョン推進会議

